

中 学 1 年 道 徳 授 業 案

日 時 平成 27 年 7 月 22 日 (水) 3 校時

生 徒 1 年 B 組 男子 13 名 女子 20 名 計 33 名

授業場 1 年 B 組教室

授業者 柴 田 題 寛

1 主題名 『 C (13) 勤労 4-(5) 』

2 資料名 『ナイトカストーディアル』(ディズニーランド)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

生活を営む上で、勤労は欠かすことのできない重要な要件であり、勤労を通して、自らの生活を充実させ自己実現につながるという側面もある。また、勤労には与えられた役割に対して責任を持って遂行するという意欲が必要不可欠である。更に、他者との関わりなどから社会生活への貢献につながりを持たせ、そして自らの勤労が社会を支える力の一端になることを知ったとき、その喜びは大きな自信となり、自発的な勤労意欲へ発展していくと考える。

生徒観省略

これらを踏まえ、本時ではどのような仕事を与えられたとしても、その仕事にやりがいを見出すと共に、自分の仕事の成果の先には、必ず他者がいるということや、仕事の成果から得られる他者からの賞賛や感謝が自らの意欲につながることに気付かせたい。現段階で職業に触れる機会の少ない中学生にとって、勤労をイメージしやすいように学級における係活動や当番活動、そして家庭での役割を取り上げ、それに向かう生徒たちの心情も振り返らせていきたい。

また、夏休みに実施する職場体験活動の取組の際に、本時の内容を想起させることで、それぞれの職場で仕事をしている人々の心情や、どういった振る舞いが望ましいかを考えたりするなど、総合的な学習の時間との横断的な学びにもつなげていきたい。

(2) 資料について

本時で用いる資料「ナイトカストーディアル」は、ディズニーランドを舞台にした資料である。

ディズニーランドで働きたいと思い、就職した若いナイトカストーディアルだったが、深夜に広いディズニーランド内を隈無く清掃するという孤独な重労働に対して前向きになれなかった。しかし、アメリカのディズニーランドに研修に行き、そこで出会った同じナイトカストーディアルの仕事に対する姿勢に触れ、自らの仕事に対する考え方や取組が変わったという話である。

4 本時案

(1) 本時のねらい

仕事に対する心の在り方の比較を通して、仕事は自分のためにだけでなく、他者との関わりがあることに気づかせ、その役割や責任を大切にしようとする心情を養う。

(2) 本時の展開 _____ 中心発問 ○発問 △補助発問 []予想される生徒の反応 □説明指示

主な学習活動	教師のかかわり	指導展開上の留意点
<p>1. アンケート結果をもとに、学級や家庭での仕事に対する気持ちを想起する。</p> <p>・掃除当番 ・日直 ・係の仕事 ・家の手伝い</p> <p>・嫌々やっている。 ・進んでやっている。 ・怒られるから。 ・役割だから</p> <p>2. 資料の範読を聞き、資料の内容を把握し発表することができる。</p> <p>・嫌で嫌でしかたがない。 ・掃除なんてしたくなかった。 ・こんなはずではなかった。</p> <p>・楽しい。 ・素晴らしい。 ・やりがいを持っている。</p> <p>【楽しい】 ・やりがいを見いだしている。 ・お客さんのことを考えている。</p> <p>【楽しくない】 ・心の底では楽しくないと思う。 ・無理をして楽しもうとしている。</p> <p>・仕事を楽しもうとしている。 ・やりがいを見いだそうとしている。 ・お客さんの笑顔のために。 ・自分の仕事に誇りを持っている。 ・自分で工夫している。</p>	<p>1. アンケート結果をもとに、普段の仕事に対する自分の気持ちを想起させる。</p> <p>○「普段みなさんはどのような仕事をしていますか。」</p> <p>○「みなさんは、どのような気持ちで仕事をしていますか。」</p> <p>2. 資料を範読し、内容を整理する。</p> <p>□「若いカストーディアルの心情の変化を確認していきましょう。」</p> <p>○「若いカストーディアルは、なぜ情けなくなったのでしょうか。」</p> <p>○「アメリカのカストーディアルは、どのような気持ちで仕事に取り組んでいるのでしょうか。」</p> <p>△「本当に楽しいのでしょうか。」 ・半数で割れた場合はその理由を討議</p> <p>△「それぞれの理由を話し合みましょう。」</p> <p>・楽しくないが多数であれば △「では、日本のカストーディアルに嘘をついたのでしょうか。」 △「楽しくなければ続けられないのでしょうか。」</p>	<p>・主題に対する興味・関心の喚起</p> <p>・資料配付 ・若いカストーディアルの仕事に対する心情を変化させた理由に迫りたい。</p> <p>価値の広がり 個人思考→ 小集団交流→ 全体確認→ 価値の深まり 補助発問からの 討議</p>
<p>3. これまでの学習を通して、自分の生活の中の仕事に対する気持ちについて考える。</p> <p>・感謝されたとき。 ・誰かのためになっていると感じた。 ・自ら進んでやったとき。</p> <p>・みんなのために仕事をする。 ・辛い仕事でも楽しみを見いだしたい。 ・どんな仕事も工夫して取り組みたい。</p>	<p>3. 導入での仕事に対する気持ちを振り返りながら、今の自分の仕事に対する気持ちについて考えさせる。</p> <p>○「仕事をして良かったと感じるのはどのようなときでしょうか。」</p> <p>○「仕事について、今のあなたの気持ちや考えを教えてください。」</p>	<p>・自分の生活を振り返り、仕事や役割の大切さや仕事から得られるものについて気付かせたい。</p>
<p>4. 本時の感想をワークシートに記入する。</p> <p>5. 教師説話を聞く。</p>	<p>4. 本時の感想をワークシートに記入するように指示する。</p> <p>5. 教師説話をする。</p>	

